

ガイドライン内 事前協議チェックリスト (東保木間一丁目地区)

20210312

Ver.B.1

【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合	
オープンスペースを活用した景観	公園・広場	日常は地域活動の場、非常時は避難場所として、周辺施設と一体的に利用する団地東側の広場を整備		<input type="checkbox"/>	
		団地東側の広場は、まとまった空間を確保しながら、既存樹木の保存や周辺と調和した樹種を植栽		<input type="checkbox"/>	
		団地南西側の広場は、既存樹木を活用した緑豊かな広場空間を整備		<input type="checkbox"/>	
		まちかど広場は、西側からの団地の顔となる憩いの広場空間を整備		<input type="checkbox"/>	
	歩行者空間	団地北・西側道路の歩道幅や歩道状空地による歩行者空間の整備		<input type="checkbox"/>	
		拡幅する歩道は、団地内緑地を隣接して配置し、魅力ある道路景観を形成		<input type="checkbox"/>	
		団地内通路を補完する歩行者動線として、季節の花木を取り入れた歩行者サブネットワークを配置		<input type="checkbox"/>	
		外周道路交差部は、歩行者の安全性と車両交通の円滑性や防犯性を考慮した、見通しコーナーを整備		<input type="checkbox"/>	
	豊かな緑環境を中心とした景観	緑の軸	団地北側の歩行者空間や団地中央コミュニティ道路沿い、東側の道路沿いに、厚みある緑の軸を形成		<input type="checkbox"/>
			既存樹木を活かしたシンボルツリーの配置や補完する樹木を新植		<input type="checkbox"/>
休憩スペース等の憩える空間を創出				<input type="checkbox"/>	
緑の継承と拡充		既存樹木のうち、健康な樹木等保存に適したものは原則保存・継承		<input type="checkbox"/>	
		団地東側広場、中央のコミュニティ道路、南西側広場は、重点保存エリアとして既存樹木を保存		<input type="checkbox"/>	
		新植の際、団地内の歩行者動線沿いを中心に防犯に配慮しながら四季の移ろいを楽しめる景観を形成		<input type="checkbox"/>	

		緑化にあたっては、周辺街路樹・施設との調和や、地域の在来種に適合した樹種の選定に配慮			<input type="checkbox"/>
周辺地域と調和した良好な住宅地の景観	建物配置・高さ	補助259号線沿道を高層エリアとし、それ以外を中層エリアとする			<input type="checkbox"/>
		雁行配置等の適度な変化のある住棟配置による景観を形成			<input type="checkbox"/>
	計画地際の処理	地区外周部際に樹木を配置し、周囲に対する建物の圧迫感を緩和			<input type="checkbox"/>
		道路からの壁面後退距離を定める等、建物からの十分な距離を確保			<input type="checkbox"/>
ユニバーサルデザインの導入		団地住棟や施設は、障がい者、高齢者等に配慮した、誰もが使いやすいデザインとする			<input type="checkbox"/>
屋外施設 (駐車場・駐輪場・ゴミ置き場等)		駐車場等の屋外施設は、道路や広場からの見え方や防犯に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐車場は、生垣、植栽柵で死角をつくらず、見え方にも配慮			<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足元に低木を設けて緑化する等、景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		ゴミ置場は、緑化による目隠しや建物と一体感あるデザインで景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外灯は、必要な照度を確保するよう、バランス良く配置			<input type="checkbox"/>
		案内板等は景観に変化を与えるデザインとし、周囲の建物との調和に配慮			<input type="checkbox"/>
		緑の軸では、ベンチ等を適宜配置し、休憩空間の形成に配慮			<input type="checkbox"/>
舗装		通路や歩道状空地の舗装は透水性素材を採用するなど環境に配慮			<input type="checkbox"/>
		街角や車の導入口は視認性を高める工夫を行い、舗装材料はユニバーサルデザインに配慮			<input type="checkbox"/>
屋外広告物	都営住宅	原則、屋外広告物を設置せず、案内板等は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>

	公共公益施設	広場や住宅に面し屋外広告を設置する際は、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋上広告物は、著しく圧迫感を与える大きさを避け、周辺とのスカイラインの調和を考慮した高さ			<input type="checkbox"/>
		壁面広告は建物壁面のバランスを考慮した大きさとし、正面デザインを乱さないよう配置形状に配慮			<input type="checkbox"/>
		突出広告物は、沿道景観を乱さないよう形状を揃え、壁面線に沿い規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>
環境に配慮した取り組み		浸透枡等の設置や透水性舗装の採用、敷地内の緑化等、自然環境を保全、再生する取組みに努める			<input type="checkbox"/>
		省エネに配慮した高効率化、太陽光発電による省エネ化の推進、自然エネルギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>
		コンクリートの再生砕石の利用等、リサイクル材の活用や廃棄物の削減等に配慮			<input type="checkbox"/>
照明計画	団地内屋外灯	防犯性に配慮し、夜間の安全性・安心感を確保、適度な明るさで暖かみのある質の高い光を配置			<input type="checkbox"/>
		コミュニティ道路沿いや住棟への分岐支点、団地内通路沿いは明るく照らし、住棟前は光害に配慮			<input type="checkbox"/>
色彩	都営住宅	ベースカラーは、YR系の高明度・低彩度のベージュ色を使用			<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは、YR系の中明度・中彩度色を使用			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、サブベースカラーより高明度、高彩度の色相			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、建物玄関や低層部、街角等のアイストップ、工作物等のサインに効果的に使用			<input type="checkbox"/>
	公共公益施設	建物規模に応じ足立区景観計画における「色彩基準Ⅰ～Ⅱ」を遵守			<input type="checkbox"/>
		強調色として原色に近い高明度、高彩度の色を用いる場合は、区道に面する箇所以外には使用しない			<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。
 なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。